

## 演技であっても、出演者に初タバコをさせるべきではない。 吸わせるべきでない。

2022.8.8 子どもに無煙環境を推進協議会  
代表理事 野上浩志  
(日本禁煙学会・理事)

- 俳優の岡田結実さん(22)、齋藤英里さん(22)が、中前勇児監督の「ウラギリ」で、「監督の強い意向でタバコを吸う演技をすることになった」と報じられていますが、
- (1) タバコは主成分のニコチンの依存症が強く、一度吸い始めれば止めるのが難しく、特に若いほど依存性は強く、とりわけ女性は止めにくくなることは周知のことです。この喫煙により生涯にわたり健康を害し、周りにも受動喫煙の害を及ぼすリスクがあります。(がん、呼吸器疾患、循環器病をはじめ万病の元)
  - (2) ですので、演技であっても、出演者に初タバコをさせるべきでなく、初でなくともタバコを吸わせるべきではありません。ご本人のタバコ依存症、健康への害だけでなく、共演者の受動喫煙防止の危害防止上からも必要なことです。
  - (3) 中前勇児監督には、タバコの強い依存症、健康への害を勉強いただき、猛省をお願いし、再発の無きようよろしくお願いいたします。
  - (4) また出演者の俳優・配役も、上記の趣旨をご理解いただき、「監督の強い意向でたばこを吸う演技」は強く断るよう、ご見識をお願いします。

### 【資料】

#### 1. 岡田結実、主演映画で人生初たばこ

<https://news.livedoor.com/article/detail/22631998/>

俳優の岡田結実(22)、齋藤英里(22)、兒玉遥(25)、中前勇児監督(44)が6日、都内で行われたきのう5日公開の映画『ウラギリ』舞台あいさつに登場。映画で人生初たばこを経験したエピソードを明かした。

岡田は、監督の強い意向でたばこを吸う演技をすることになったといい「人生で初めて吸った。クランクインの前から、タバコ吸うんだということがストレスじゃないですけど、緊張しちゃって。吸うってことが怖くて、前日に練習しました」とたばこを吸う前の心境を告白。

“ネオシーダー”というタバコに似た形状の薬で最初に練習したというが、(ネオシーダー)が合わなくて、しかし、現在は吸っていないといい「クランクインした次の日から吸うの辞めてしまいました(笑)」と明かしていた。(抜粋)

※**ご注意**：タバコもどきのネオシーダーを吸わせる事例がありますが、ネオシーダーにはニコチンが幾分か含まれていて、タールや発がん性物質なども含まれているので、使用はダメです。

[http://web.nosmokeworld.com/neocedar/neocedar\\_toha.htm](http://web.nosmokeworld.com/neocedar/neocedar_toha.htm)

2. 同じように、俳優・永野芽郁さんの『たばこ吸う練習します』、タナダユキ監督、永野芽郁の役作りを称賛「たばこ吸う練習してくれた」

<https://hochi.news/articles/20220711-OHT1T51256.html?page=1>

映画監督のタナダユキ氏が11日、都内で監督作「マイ・ブローケン・マリコ」（9月30日公開）の最速試写会に出席した。主人公のシイノを演じるのは、女優・永野芽郁。シイノは、たばこをふかし、… 「芽郁ちゃんは、普段たばこを吸わないんですけど、様にならないと軸がぶれてしまうし、どうかなと思っていた時に『たばこ吸う練習します』と言ってくれて。よかったな」と永野の余念のない役作りをたたえた。

3. 国は2022年度に喫煙率12%の目標を掲げていますが、現状は約17%、若者、若い女性のタバコ離れが重要です。

- ・喫煙率下げ止まり 対策急務—今年度に12%困難、若者の「きっかけ」摘む必要（読売） <https://notobacco.jp/pslaw/yomiuri220707.jpg>
- ・たばこを吸い始めた年齢とリスクの関係 若いほど高まる死亡率と依存度（毎日） <https://notobacco.jp/pslaw/mainichi220531.pdf>